

会報

第 125 号

1997年 12月1日発行

発行人 圓口 佳 昭

事務局 京都府八幡市八幡城之内20
TEL/FAX 075-981-0063, 982-8064
nomasuda@mbx.kyoto-inet.or.jp
KYOMYCON@mbx.kyoto-inet.or.jp

京都マイコン研究会

次回例会

97年12.6日(土)(pm.6:30)

大山崎ふるさとセンター

内容 第29回パソコンイベントの準備と
経過報告(実行委員長 若林氏)

例会報告

1997年11月1日 (pm.6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 若林、中辻、若井、中村
加藤、増田、圓口、岩井 8名

内 容

パソコンイベントについての準備と
経過報告(実行委員長 若林氏)

パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会設立20周年併催事業
の市民のつりにて「パソコンミニワールド」開催



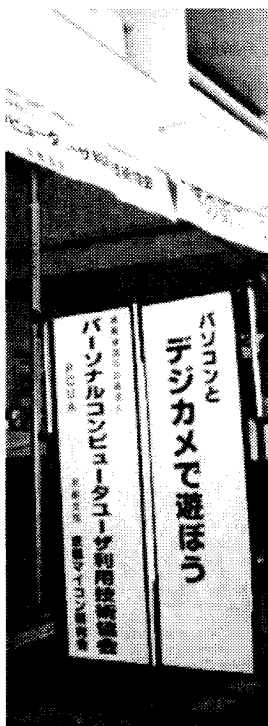
(社) パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会 祝 創立 20 周年記念併催事業

八幡市まつり工業部会コーナーにて 「パソコンミニワールド」開催

京都支部 京都マイコン研究会

去る、11月3日(祭)京都府八幡市役所周辺で開催されました八幡市民まつりの工業部会コーナーに於いて「パソコンミニワールド」として開催いたしました。この会場のリアルな状況を fotograf (モノクロームピクチャー) によりお知らせいたします。

このディスプレイは、若井征夫氏にパソコンでカットイングマシーンを利用して作成していただきました。「パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会 京都支部」のディスプレイで白いアクリルボードに群青の切り文字で作られ「PCUA」は赤で制作していただきました。横40センチ/縦100センチの両面です。そのボードと無地のボード(各種のメッセージが表示出来るように)をセットで掲示出来るので今後の催しには大変便利なものです。



会員の方々が作成されたディスプレイ類と協会本部事務局から提供いただいたPCUAの資料類、パソコンリテラシー、認定試験申し込み用紙、その他パネル類を設置している「パソコン認定試験ご案内コーナー」。

サイドに置かれているモニタでは「Office 97 実況中継」がオートデモをスピーカを通して解説。

その横で「パソコン何でも相談コーナー」を設けました。

コンパニオン登場！

「やわたかくや姫」八幡市のイメージガールが場内の雰囲気のを和らげて頂きました。

バックのトーマス・アルバ・エジソンの肖像画はヨットの帆布に染め上げた物です。(増田制作 縦180cm横120cm)

その下に「発明王エジソン生誕150周年記念ホームページ」がパソコン上でモニターに写し出されています。

このホームページは、エジソンが社会に出て働きたす13才の時から亡くなられた1931年(昭和6年)10月18日までの発明王と言われる由縁を、日本語版と英語版の双方で閲覧出来るように、ハイパーテキスト(HTML)化して制作されたものです。(増田制作)

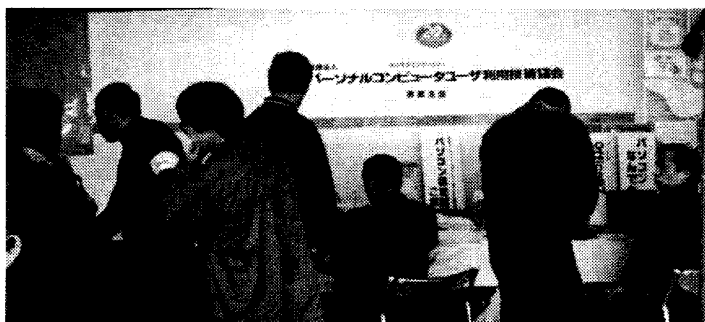
生誕150周年記念品として、エジソンの肖像がポスター配布。死去当日のアメリカの新聞のエジソンの生い立ちから前日までの歴史と写真を掲載した見開き2ページをそのまま凝縮したレタークロスも展示。



始まりました！



パソコンで何だろう ???



スコットも登場！

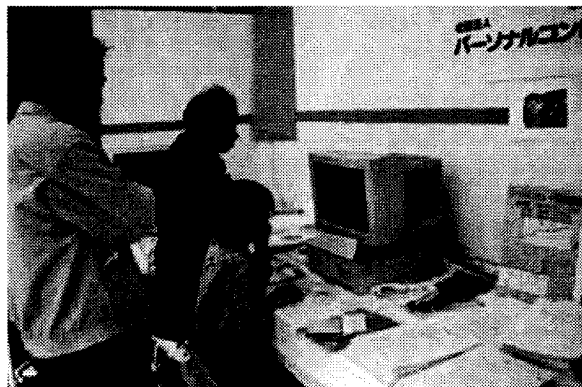


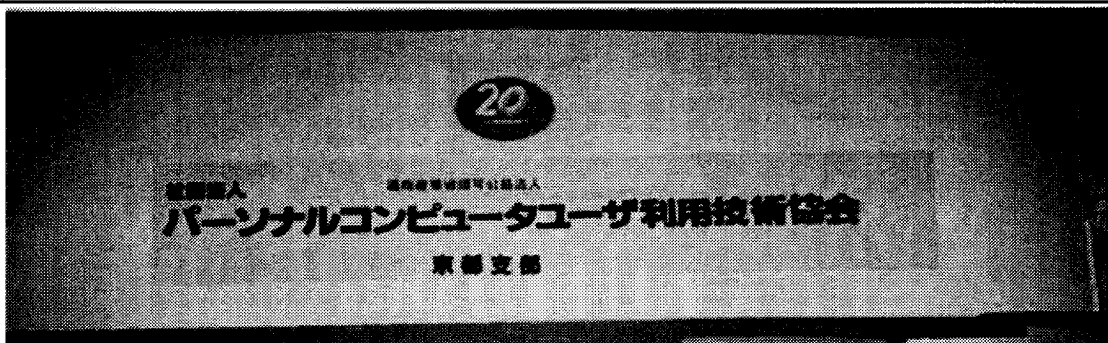
興味津々の様子



なかなかその場を去らない お年寄りも！







おどろき!

加藤氏が自宅(京都市内)からサイクリング車で到着。約30分で来られたと言うことです。

我々は、日頃の行いが良いので、天候がいいのと言うことです。

何度となく来られる人?





講演／講習会
記録より

今、なぜインターネット！

nomasuda

第4回（1部）11月11日（火）午後2:00～5:00まで。当会員からは、中村氏。

（2部）11月12日（水）午後2:00～5:00まで。当会員からは、前田氏、野沢女史、私（増田）が参加いたしました。

「今、なぜインターネット！」が上記にて開催されました。

NTTマルチメディア営業企画室長及び担当者と八幡営業所長他総勢10名。外線から、2回線引き込みLANケーブルで計15台のノートパソコンで講習。

今回は、実際にホームページを作ろうと言うことで15名限定で、連続2日にかけて開催されました。

この講習会シリーズは、今回が最後で、毎回大盛況であったことはインターネットに関して商店や事業者の関心度の強さを示しているのでしょう。今回のインターネット講習会のシリーズで講師を担当していただいた野沢女史とNTTマルチメディア営業企画室インターネット講習担当女性との講習内容の流れはほとんど同様にLANを使った仮想インターネット電子メールの受信、インターネットでのキンピールの懸賞応募などで講習会が締めくくられました。



ノートパソコン15台で講習。



会員の前田氏も熱心に受講中。



インターネットの受講者は年輩者や女性が多い。



NTTマルチメディア営業企画室担当者と、一部受講者との記念ショット。

講習会終了後、NTTマルチメディア営業企画室担当者、八幡営業所長、課長、主催者の八幡市建設業協会と懇親会をいたしました。

野沢女史と私（増田）が参加。インターネット、ISDN4,0N,について小谷室長などと、今後の情報交換や交流などの話で、和やかに過ごさせていただきました。

b obup_iy の 忘 備 録

HIROYASU. IWA I

インターネットエクスプローラ4.0 (IE4.0) とは、 何をするものなのでしょうか。

①デスクトップ強化ツール。②インターネットツール。の二つのツールが同じ環境で使用できるとのことです。
ここで紛らわしい名詞がいろいろありますので整理しておきます。

Outlook 97 (Office 97に含まれている) は、Windows 95内臓のExchangeを強化したものでメール、予定、連絡先、仕事などの情報管理を主としたソフトであるが、振り仮名がふれる機能がありデータを並べ替えることができるので住所録の管理に向いている、またHTMLをサポートしていないのでHTMLメールには活用できない。

Outlook Express (IE4.0に含まれている) は、IE3に付属していた internet Mail and Newsのバージョンアップ版でインターネットメールとニュース専用のソフトであり、HTMLメールも受け取れるのでメールの送受信に向いている。

デスクトップ強化ツールで、できることを列記してみます

- 1 シングルクリック
- 2 フォルダを開かずに内容表示
- 3 履歴リストの表示
- 4 オートコンプリート機能――ファイル名の入力を途中から補完
- 5 お気に入りにショートカットを追加
- 6 お気に入りを表示したままファイル操作
- 7 画像を一覧で表示
- 8 フォルダをカスタム設定
- 9 デスクトップのアイコンを非表示
- 10 フォルダの背景に画像を張り込む
- 11 クイック起動バー――アプリケーションの起動
- 12 リンクバー――よく行く使うフォルダ、ファイル、Webサイトを登録
- 13 アドレスバー
- 14 デスクトップバー
- 15 タスクバーで最大化
- 16 スタートバーもドラック&ドロップ
- 17 フォルダーをバーとして登録
- 18 HTMLファイルバーとして登録
- 19 メニューのタイトル、テキスト表示を外しアイコンを貼る
- 20 バー上でダブルクリックでバーの最大化
- 21 バーは任意な場所に浮かせることができる
- 22 BMP、JPEG、GIF、DIB、PNG形式のファイルが壁紙として同時に複数扱える
- 23 背景にHTMLファイルの使用が可能

その他多数ある。

インターネットツールとしてできることを列記します

- 1 メニューバーの中の項目が増加
- 2 ツールバーの「履歴、チャンネル、全画面表示」メニューが、3つ増加
- 3 アドレスバーに、オートコンプリート機能 (URLやファイル名の補完) が追加
- 4 リンクバー上で右クリックにより表示バーの選択ができる
- 5 アドレスバーに go. find. ? + 単語の入力で Yahoo! Japan に単語項目へ接続
- 6 検索バーを画面左に残して検索するので元に戻らなくてもよい
- 7 履歴バーは週、日、サイトごとに整理されて表示
- 8 Webサイトのショートカットをデスクトップに作れる
- 9 Webサイトの自動巡回し更新されたデータは通知かダウンロードしてくれる――購読
- 10 Webサイトの自動巡回において提供内容の更新スケジュールに従う――チャンネル
- 11 Active Desktop――変化する情報をリアルタイムに取り込む [理解できず]
- 12 受信アシスタントで、差出人、件名、宛先で分類と整理ができる
- 13 プレビューウィンドウでメッセージを開かなくても確認できる
- 14 HTMLメールの送受信に対応
- 15 v Card (電子名刺の標準規格) に対応――アドレス帳に登録
- 16 自動巡回時に更新があればHTMLメールで通知される
- 17 画像ファイルを含んでいるメッセージは自動解凍して表示
- 18 NetMeeting――チャット、ビデオ、音声によるコミュニケーション、電話
- 19 MS-Chat――漫画キャラクターでチャット

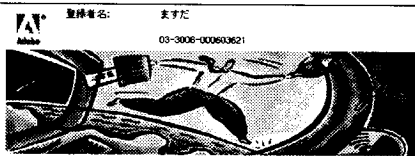
以上のような機能はユーティリティソフトで各自がダウンロードして実現していたのが実現可能となった。

HTMLにおいてはマイクロソフトが独自に DinamicHTML として拡張したので NetscapeCommunicator との文法が違い、互換性が無い、したがってお互いにHTMLによる通信はできない。私の意見としては、このままでは明治以前の水争いのように、MS村対NS村の争いで金権体質の醜い世の中に後戻りしそうでインターネットは消滅してしまいそうです。

Oh! PC 11/15 を参考に勘ぐってみました。

インターネットパブリッシング

NOMASUDA



Acrobat Distiller 3.0J

© 1994-1995 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe, Acrobat, Distiller and the Acrobat logo are trademarks of Adobe Systems Incorporated
which may be registered in certain jurisdictions.

ここ数年の内に、確立されるであろうと言われているインターネットパブリッシングの世界。その一つであり、定義され始めているのがこの Adobe Acrobat 3.0J である。

Adobe Acrobat はポストスクリプト言語をもとに開発された技術で、その PDF (Portable Document Format) のファイル形式は、インターネットや CD-ROM などのデジタルメディアにて容易に配信することができ、Windows や Macintosh などのプラットフォームの違いを乗り越えた時代の到来を感じられ。オリジナルのレイアウトやデザインをそのままに運用出来るものです。

その、Adobe Acrobat をマルチプロセッシングで高速処理する RIP アーキテクチャ Adobe PostScriptExtram と PDF とのオンデマンド・プリンティングワークなど今後の利用環境での変化が楽しみです。

前号続き

監視フォルダを使った PDF 作成

Acrobat Distiller が監視するネットワーク上のすべてのフォルダに対して、読み込み、書き込み、作成、削除のアクセス権が必要です。

監視フォルダの設定

監視フォルダ別ジョブオプションの設定

監視フォルダ用 Distiller の設定

監視フォルダの使用

監視フォルダの処理とオプションの確認

監視フォルダの設定

Acrobat Distiller では、最高 100 個までのフォルダを監視でき、各フォルダごとに異なるオプションを指定できます。

監視フォルダを追加するには：

- 1 Distiller / 監視フォルダを選択し、「フォルダ追加」をクリックします。
- 2 「In」と「Out」の 2 つのフォルダの場所を選択します。

Distiller では、選択したフォルダ内に「In」フォルダと「Out」フォルダを作成します。選択したフォルダに「In」または「Out」と命名されたフォルダがすでに存在する場合、フォルダは新たに作成されません。Windows では、「In」と「Out」フォルダをディスクドライブのルートレベルに保存できます。たとえば、「E:\」を監視フォルダに選択すると、「E:\In」と「E:\Out」という 2 つのフォルダを作成します。

- 3 このフォルダの圧縮、フォント、詳細設定を制御するジョブオプションを変更するには、「編集オプション」を選択します。詳細は監視フォルダ別ジョブオプションの設定を参照してください。

監視フォルダ別のジョブオプションを編集するとウィンドウ内のフォルダ名の隣にこのデルタマークが表示されます。

注意：Windows では、各監視フォルダにジョブオプションを設定すると、目のアイコンの代わりにデルタマークが表示されます。

Macintosh では、ジョブオプションを編集すると、目のアイコンとデルタマークが両方並んで表示されます。

監視フォルダを削除するには：

- 1 Distiller / 監視フォルダを選択します。
- 2 削除するフォルダを選択し、「フォルダ削除」をクリックします。

リストから監視フォルダを削除しても、「In」フォルダと「Out」フォルダ、およびその内容は削除されません。これらの削除は、ユーザが適宜行います。

Macintosh でのポストスクリプトファイルの作成

PDF 作成用のポストスクリプトファイルを作成するには、Adobe PSpinter 8.3.2J プリントドライバを使用します。このドライバは、Adobe Acrobat 3.0J CD-ROM からインストールできます。詳細は『Adobe Acrobat 3.0J は始める前に』を参照してください。

ドライバをインストールし、セレクトで Acrobat Distiller ポストスクリプトプリンタ記述 (PPD) ファイルを選択すると、ほとんどの Macintosh 用アプリケーションでポストスクリプトファイルが作成できます。

Acrobat Distiller PPD を使って PSpinter 8.3.2.J を設定するには (Macintosh) ポストスクリプトファイルを作成するには (Macintosh)

ポストスクリプトファイルの作成

Distiller では、ポストスクリプトファイルに含まれる元の電子書類のページ記述を解釈して PDF ファイルを作成します。

Windows でのポストスクリプトファイルの作成

ポストスクリプトファイルの命名

ポストスクリプトファイル作成のヒント

Windows でのポストスクリプトファイルの作成

Windows 95 で PDF 作成用のポストスクリプトファイルを出す

するには、AdobePS 4.1J プリンタドライバを使用します。このドライバは、Adobe Acrobat 3.0J CD-ROM からインストールできます。

注意：Adobe Acrobat 3.0J CD-ROM に入っている AdobePS 4.1J ドライバには、多くの重要な修正が含まれています。AdobePS4.1J ドライバをすでにインストールしてある場合は、Acrobat 3.0J をインストールしてから、CD-ROM に入っているプログラムを使って、再び AdobePS 4.1J ドライバをインストールしてください。

注意：PDF 作成用のポストスクリプトファイルを作るには、PScript ドライバは使用できません。また Windows NT 上で作ったポストスクリプトファイルは使用できません。

ドライバをインストールして、インストール済みのプリンタのリストに Acrobat Distiller を追加すると、ほとんどの Windows 用アプリケーションでポストスクリプトファイルを作成できます。

AcrobatDistiller が監視しているフォルダ内にポストスクリプトファイルを直接保存します。

Adobe ドライバを使って Acrobat Distiller J PPD を追加するには (Windows 95) :

1 まず、Acrobat と Distiller Assistant をインストールし、Acrobat3.0J CD-ROM にある「Drivers」フォルダから、AdobePS 4.1J プリンタドライバのセットアップユーティリティを起動します。

2 画面の指示に従って使用許諾契約書を受け入れ、セットアッププログラムをローカルディスクにコピーします。

3 プリンタの種類としてローカルプリンタを選択し、「次へ」をクリックします。

4 「System」フォルダ内の使用可能 PPD のリストから Acrobat Distiller 3.0J を選択し、「次へ」をクリックします。

5 利用できるポートのリストから「FILE:」を選択し、「次へ」をクリックします。

6 通常使うプリンタとしてインストールの「いいえ」オプションを選択して、「次へ」をクリックします。

7 Acrobat Distiller 3.0J のプロパティシートが呼び出されたら「OK」をクリックします。

8 「終了」をクリックして、セットアップユーティリティを終了します。

9 スタートメニューで設定／プリンタを選択して、Acrobat Distiller 3.0J を右ボタンでクリックし、「プロパティ」を選択します。

10 フォントタブをクリックし、「テーブルの編集」ボタンをクリックします。

11 「標準に戻す」ボタンをクリックします。

12 フォントのプロパティシートで、もう一度「標準に戻す」ボタンをクリックします。

13 「OK」をクリックして、Acrobat Distiller 3.0J のプロパティダイアログボックスを閉じます。

ポストスクリプトファイルの命名

ポストスクリプトファイルの名前には拡張子 .ps を付けるのが決まっています。

この命名規則に従えば、書類のオリジナル、ポストスクリプト、PDF の各バージョンを簡単に管理できます。Acrobat Distiller では、処理するポストスクリプトファイルの名前を使用して、作成する PDF ファイルを命名します。ポストスクリプトのファイル名から拡張子を取り除かれ、代わりに、元のファイル拡張子が小文字であれば .pdf、大文字であれば .PDF という拡張子が付きます。

ポストスクリプトファイルからの PDF 作成

通常、Distiller の圧縮およびフォントの初期設定を使用すると、サイズが比較的小さい効率的な PDF ファイルを作成できます。このときに必要な作業はポストスクリプトファイルの変換だけです。

ファイルサイズや画質をさらに細かく制御するには、Distiller のオプションを変更します。

一般に、Distiller を実行しているコンピュータのハードディスクには、変換するポストスクリプトファイルのサイズの 2 倍の空き容量が必要です。

ポストスクリプトファイルを作成するには (Macintosh) :

- 1 アプリケーションを起動して、ポストスクリプトファイルにプリントする書類を開きます。
- 2 セレクタを選択します。
- 3 PSPrinter のアイコンをクリックして、セレクタを閉じます。
- 4 使用中のアプリケーションに戻ります。
- 5 ファイル／プリントを選択します。
- 6 出力対象に「ファイル」を選択します。カラーの書類やグレースケールの画像を含む書類の場合は、「カラー／グレースケール」プリントオプションを選択します。
- 7 「OK」をクリックすると、別名で保存ダイアログボックスが毎7されます。
- 8 出力対象を選択し、ポストスクリプトファイルの名前を入力します。詳細はポストスクリプトファイルの命名を参照してください。
- 9 「二進 (Binary)」と「レベル 2」のボタンを選択します。これによって、サイズが最小でもっとも効率的なポストスクリプトファイルが作成できます。
- 10 フォントの保持メニューから「標準 13 以外」を選択します。元の書類で使用している TrueType と ポストスクリプトフォント (欧文フォントのみ) がすべてファイルに含まれます。
- 11 「保存」をクリックします。ポストスクリプトファイルが作成され、使用中のアプリケーションに戻ります

Acrobat Distiller PPD を使って PSPrinter 8.3.2..J を設定するには (Macintosh) :

- 1 PSPrinter 8.3.2.J がインストールされた状態で、セレクタを選択します。
- 2 PSPrinter のアイコンをクリックします。右上のメニューから仮想プリンタを選択します。
- 3 「設定」をクリックします。「システムフォルダ」内の「プリンター」フォルダにある「プリンタ記述ファイル」フォルダから Acrobat Distiller J (PPD) または Acrobat Distiller J Custom PPD を選択し、「選択」をクリックします。(Acrobat Distiller JCustom PPD については MakeCID の使用を参照してください。)
- 4 セレクタを閉じます。

ポストスクリプトファイル作成のヒント

- ・ポストスクリプトプリンタドライバの最新バージョンを使用します。
- ・カラーの PDF ファイルを作成するにはカラープリンタを選択します。Acrobat Distiller PPD を使用すると、カラーの PDF ファイルが作成されます。
- ・カスタムのページサイズの PDF ファイルを作成するには、カスタムのページサイズをサポートしているプリンタを選択します。Acrobat Distiller PPD は、カスタムのページサイズをサポートします。
- ・Fetch などを使って、FTP でコンピュータ間をポストスクリプトファイルが転送する場合、改行 (LF) とキャリッジリターン (CR) が誤って変換されないように、8 ビットのバイナリデータとして送信されます。

・Macintosh では、用紙設定ダイアログボックスの「フォント代用」や「グラフィックス・スムージング」は選択しないでください。これらを選択すると、グラフィックをスムーズにするため、プリンタドライバでは書類に小さな画像を多数追加します。これによって、PDF ファイルのサイズが大きくなり、毎7やプリントに時間のかかるファイルが作成されます。

・Adobe PageMaker、Adobe FrameMaker などのアプリケーションを使って、ポストスクリプトファイルを容易に作成できます

・Macintosh では、用紙設定ダイアログボックスの「フォント代用」や「グラフィックス・スムージング」は選択しないでください。これらを選択すると、グラフィックをスムーズにするため、プリンタドライバでは書類に小さな画像を多数追加します。これによって、PDF ファイルのサイズが大きくなり、毎7やプリントに時間のかかるファイルが作成されます。

・Adobe PageMaker、Adobe FrameMaker などのアプリケーションを使って、ポストスクリプトファイルを容易に作成できます

Adobe Acrobat は、現在の紙メディアからデジタルへとDTPの流れを変えられるのか？

インターネット電子メールではレイアウトが出来ない。ホームページでもレイアウトの限界がある。現在において Adobe Acrobat は、DTP で作成されたものを配信先で再編集、ファイル量の減量が出来るのです。

ネットワークコミュニケーションの時代のデジタル (圧縮、フィルター) ファイリング化は求められている条件の1つでしょう。

